

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.55

発行：2019.12.20 リニア新幹線を考える相模原連絡会 <http://sagamihara-g.mond.jp/>

甚大な台風被害の中で、リニア工事を進めてよいのか？

橋本駅起工式はやったけれど…

長さ1km、深さ30mも掘って本当に大丈夫？

-緑の高校を移転させ環境が激変、説明会では住民の不安は消えない-

起工式前の10月、JR東海(以下JR)による工事説明会が開かれた。住民から様々な疑問、不安、要望が出された。最低でも8年かかる長い工事。「何かトラブルがあれば、再び説明会を開いてほしい」という切実な要望もでたが、JRの回答はなかった。

出された質問

- ・旧校内の樹木は残せないのか？
- ・塀や校舎の取り壊しのアスベスト対策は？
- ・工事現場の騒音対策は？
- ・ダンプ等工事車両はいつどこを何台通るのか？
- ・子どもの安全や渋滞は？
- ・残土車両と仮置き場の粉じん対策は？
 - ・通行止めと代替道路は？
- ・夜間工事と夜間の車両通行は？
- ・残土の運び出し先と国道16号、129号の運行ルートは？
- ・地下水変動と地盤沈下の可能性と対応は？
- ・電磁波の影響は？ etc.

厳しい意見もでた

- ・豪雨や台風、地震があっても安全に工事が進むか疑問だ。
- ・車両は最大で1日250~750台増加する。2割も車両が増える所は大変だ。
- ・音は高層へ響く。騒音予測がズサンだ。
- ・2027開業に合わせて休日の工事などやらないでほしい！
- ・苦情の受付は24時間体制でしっかり作ってほしい。

説明会に行けなかった人も多い。深さ30mも掘る工事やドギリギリの所に建つマンション住民は「電磁波も心配だし将来の住環境がどう変わるのか見通せない。JRから移転費用をもらって移転したいぐらい…」と不安を語る。

この街の豊かな緑をつぶし、地球温暖化に拍車をかけるような工事が始まる。私たちは、もろもろの悪影響による住民の健康被害、住宅被害を最も懸念している。



11月22日の橋本駅起工式
金子 JR東海社長、黒岩神奈川県知事
本村相模原市長があいさつをした



伐採され丸太になった相原高校の樹木

気になることは迷わず連絡しましょう

JR東海：042-861-9505 (発注者)
共同企業体：042-703-0381 (請負者)

リニア相模原連絡会

ブログ：<https://linearsagamihara.hatenablog.com/>
ツイッター：<https://twitter.com/tV8aD60PIgYXFFE>

19号台風で大被害・リニア建設計画の沿線も 計画中止が最善の策では？

リニア車両基地の予定地の鳥屋も、串川の水害等で、住民の皆さんが大変な思い。相模原市は、鳥屋で串川のはんらんや、山からの水等で、床下、床上浸水 36 世帯、河川や山の崩落 36 件の被害と言います。宮ヶ瀬ダムの雨量計は、10月11日～12日24時間降水量640mm記録。



渡戸自治会館前の護岸が崩落



県道64号青野原に向かう路肩が崩落



馬石橋下流の民家の小屋土台の土が流出



串川河口が土砂で埋まり小倉で川が逆流、床下浸水

リニア車両基地、50万㎡の山を崩せば土砂災害や、河床が上がり危険！

昨年10月13日、地権者説明会で、私たちリニア連絡会は、リニア車両基地の建設は“土砂災害の危険性がある”という指摘に対して、**JR東海は**、“工事は山全体をやるのではなく「**工区を区切ってやる**」ので大丈夫”と回答。山を崩すのに区切って工事など出来るわけがありません。その場限りの無責任な対応をするJR東海に、住民の生命、財産の安全を守る姿勢はあるのでしょうか。

リニア計画ルートに沿線、牧野、牧馬、青野原など、10数か所で通行止めの被害

台風19号では、リニア幹線計画のルートや、非常口に沿った道志川、串川の河川や、道路で大きな被害が出ました。リニアの建設計画が、地形的にも大災害を引き起こしかねないと心配されます。世界的に地球温暖化ストップが緊急の課題の最中、自然破壊と膨大なエネルギー消費のリニア新幹線計画の推進は、中止を含めた再検討が必要ではないでしょうか。今からでも遅くありません。

(松本)

変電所予定地の小倉地域 城山ダムの緊急放流の影響？ 相模川が増水し、串川に逆流

台風の大雨でいつもは穏やかな川水も少ない小倉を流れる串川が増水し氾濫。この地域には JR 東海のリニア変電施設ができる予定。平坦な土地に小倉変電施設は敷地 3.5ha、10m の盛土、高さ 17m の変換器棟が建ち、残土捨て場になる。そして、上をリニアが通る計画だ。

10 月 12 日夜の城山ダム放流もあり、相模川は増水し、串川にウオーターバックした。相模川沿いの住民は城山公民館などに避難したが、床下浸水した家屋もあった。

ハザードマップには載っていない箇所のセブンイレブンの駐車場や崖が崩落した。これまでの JR 東海の説明会では「盛土は大丈夫！薬剤は使いません」と言い切っていたが、大雨で盛土や、反対側の崖も崩落したら、串川を堰き止めてしまい相模川沿いの人たちの命と財産をなくす事になるのでは…。(末永)



藤野：大洞非常口工事で 出た残土処分予定地の 採石場に大きな亀裂

19号台風の大雨で、亀裂が出来、水抜きパイプが壊れているのが画像を拡大すると見て取れる。

採石場の直下には横浜水道の水源である道志川が流れていて、7.2キロ下流には横浜水道の鮑子取水口がある。大量の残土が適切に処理されなければ、流出の危険があります…。(建部)

10/15 藤野トンネル工事が 落札されたが、台風 19 号で 道志川氾濫、各地で通行止

蛇行して流れる道志川が各地で沿岸を削り青野原キャンプ場は土砂で埋まっている。

撮影場所の道路を挟んだ反対側の新戸採石場は、鮑子取水口まで 1.6 キロ地点にある。

安全性は採石業者に丸投げで本当に大丈夫?!
(建部)



相原高校の保存樹木クスノキと1,000本の樹木・緑地の悲鳴が聞こえるか！

11月22日リニア神奈川県駅起工式が行われ、とうとう相原高校跡地が工事ヤードになってしまった。今、1,000本の樹木は次々と伐られ、100年続いた高校の歴史と共に豊かな緑地が失くなっている。跡地の大部分を駅前開発に利用する相模原市は、市民の要望・嘆願に対し「樹木と緑地をつぶして更地にする」とはっきり答えず3カ月以上も回答を遅らせたまま。本村市長の市民との対話は形ばかりだ。自ら手を汚さず説明責任も果たさず、JR東海に汚れ仕事の更地工事をさせる姿勢は県も同様だ。駅前で樹木を大量伐採し時代遅れの国策土木事業に邁進する権力を見せつけ、人々の心を殺し生活の質をないがしろにしていく。物言わぬ木々の悲鳴は小さな私たちと重なり合う。地球温暖化を止め頻発する自然災害への対処が必須と、SDGs(持続可能な開発目標)を掲げながら、現実には真逆なことを繰り返す。天に唾する行為のツケは権力者だけではなく市民の上にも降ってくる。相原高校を残せないことは心底悔しいが、無謀無益なリニアを中止させたい。(吉田加代子)



掘り返される相原高校跡地

国の認可から5年、リニアの工事は順調か？

★静岡県<南アルプス・静岡工区> 国交省が県、JRの間に入り事態の打開に向け動き始めたが、県が工事中地下水が山梨、長野側に流れることに反発、合意には至っていない。

静岡県が問題にしているのは、このまま工事が始まれば、数百年かけて南アルプスの断層の破碎帯に蓄えられてきた地下水が一気に噴出し、大井川の流域が砂漠化し貴重な生態系が崩壊する恐れがあるということ。(南アルプスでは、山頂近くで水が湧く!)県はトンネル周辺の表流水だけでなく、地下水になった水も含め大井川水系全体の量を問題にしている。

大井川下流域の焼津市、島田市などでも地下水を利用。一般家庭のほか、ウナギ養殖酒類の製造、大規模な食品工場などでも使われる。

★岐阜県中津川市<中央アルプストンネル・山口工区>2019年4月8日、山口非常口の非常口トンネル(斜坑)が直径約8m、深さ5mにわたり陥没。土被りは約20mだった。

トンネル直上に強風化花崗岩や、土石流堆積物などがあり弱い地盤だった。工事は11月に再開したが、岐阜県は再発防止のため本線トンネル掘削前に先進坑を掘ることを求め、JR東海は12月5日、地質調査のため先進坑を掘る計画を公表した。

★名古屋市<名城非常口>去年12月、地下50mまで掘ったところで地下水が湧き出て、約1年間工事が中断(直径40m、深さ90mの非常口)。地盤を固める薬剤を注入する止水工事を実施してきた。工期は今年9月末の予定だったが、2020年4月末に伸びた。ここは名古屋駅方面、品川方面(勝川非常口まで)へのシールド発進立坑。(河村)



「南アルプスにリニアはいらない」シンポジウム

2020年1月19日(日)午後2時~午後4時半

川崎市・麻生市民館大会議室 ●発言者:塩坂邦雄氏、辻村千尋氏、五十嵐敬喜氏

主催:ストップ・リニア!訴訟弁護団、リニア新幹線沿線住民ネットワーク

残土問題学習会「採石場跡地への盛土は大丈夫？」講師:桂川雅信氏

2020年2月23日(日) 13:30~16:00 ソレイユさがみ・セミナールーム2

(橋本駅北口イオン6F)

主催:リニア新幹線を考える相模原連絡会

鳥屋・トラスト地「森カフェづくり」作業は2020年1月13日(月・祝)を予定しています